

# TOMOWEL

共にある、未来へ

## 2020年3月期 決算説明資料

2020年5月22日

共同印刷株式会社

(証券コード：7914)

## 2020年3月期 決算概況

2020年3月期 業績	3
営業利益の増減分析	4
セグメント別 業績	5
情報コミュニケーション	6
情報セキュリティ	7
生活・産業資材	8
その他	9
設備投資・減価償却費	10
連結貸借対照表	11
連結キャッシュ・フロー計算書	12
2021年3月期 業績予想について	13
配当について	14
参考) 部門別売上高構成比／顧客業種別売上高構成比	15
参考) 従業員数・経営指標等	16

## 2019年3月期～2021年3月期 中期経営計画

経営目標数値	18
主要施策	19
設備投資・減価償却費	20

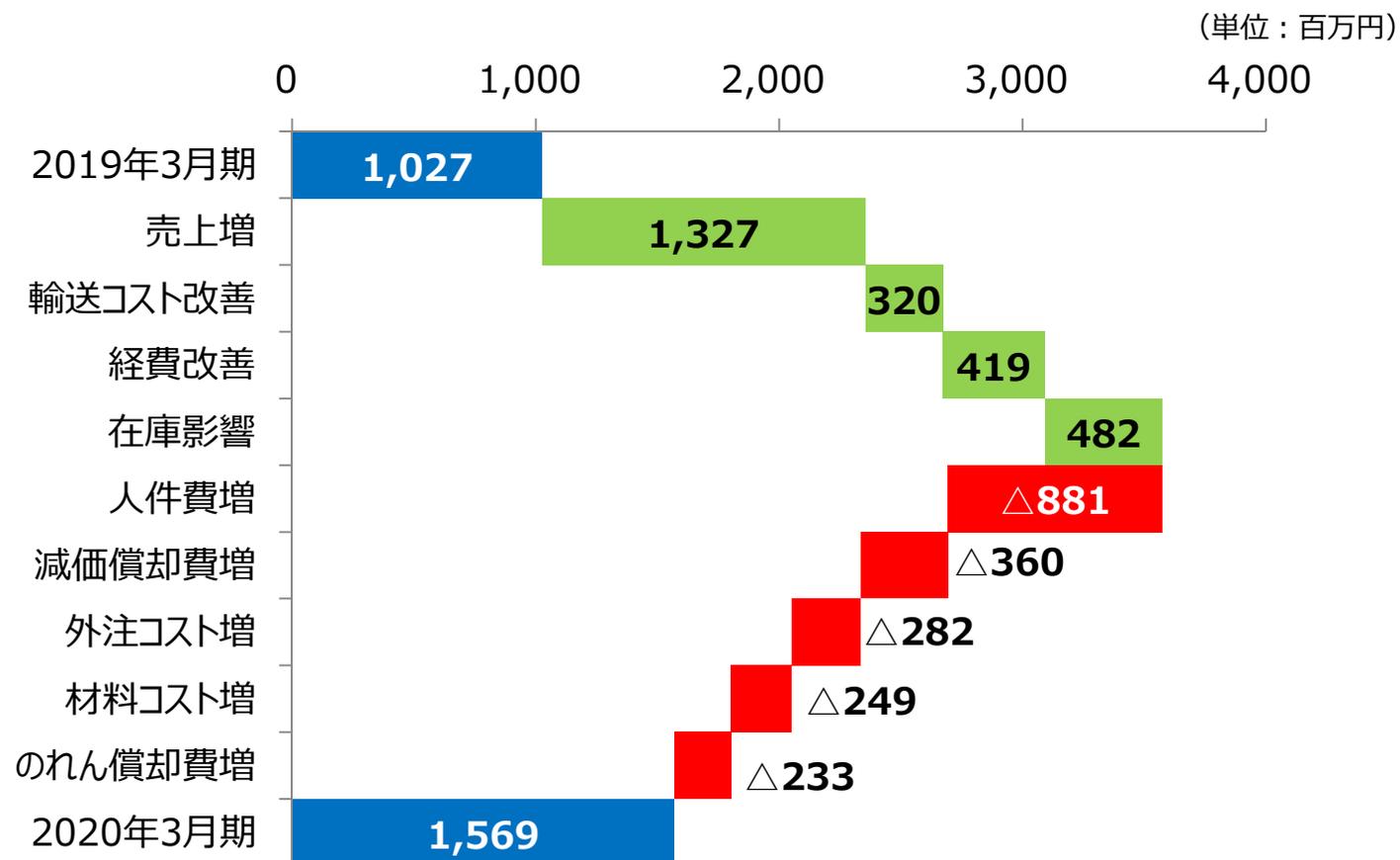
(単位：百万円)

	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	前期比	2020年3月期 期初業績予想
売上高	97,782	100,858	+3.1%	104,000
営業利益	1,027	1,569	+52.8%	1,700
経常利益	1,748	2,163	+23.7%	2,400
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,105	1,509	+36.6%	1,600
ROE	1.7%	2.5%	+0.7p	

## 業績のポイント

- ①情報コミュニケーションおよび生活・産業資材部門においてはM&Aにより売上が増加、情報セキュリティ部門では受注増により売上が増加した。
- ②生活・産業資材においては事業拡大に向けた設備投資や人件費などの固定費の増加があったが、情報コミュニケーションにおけるM&Aの効果や生産体制の最適化により、グループ全体で増益となった。

# 営業利益の増減分析



○増加要因

- ・売上増による利益増。
- ・物流費および水道光熱費などのコスト削減。

◆減少要因

- ・子会社の増加による人員増や、働き方改革に伴う費用増による人件費増加。
- ・生活・産業資材部門における設備投資の拡大に伴う減価償却費増加。

全体では前期比で増益に

# セグメント別業績

(単位：百万円)

	2019年3月期	2020年3月期	前期比
売上高 ※1	97,782	100,858	+3.1%
情報コミュニケーション	39,168	39,815	+1.7%
情報セキュリティ	31,165	31,965	+2.6%
生活・産業資材	25,270	26,338	+4.2%
その他	2,178	2,739	+25.7%
セグメント利益	1,027	1,569	+52.8%
情報コミュニケーション	△828	97	—
情報セキュリティ	1,412	1,475	+4.5%
生活・産業資材	208	△373	—
その他	369	324	△12.3%
調整額 ※2	△135	45	—
経常利益	1,748	2,163	+23.7%

※1 セグメント別売上高は、外部顧客に対するものです。

※2 「調整額」は全社費用です。

# セグメント別業績【情報コミュニケーション】

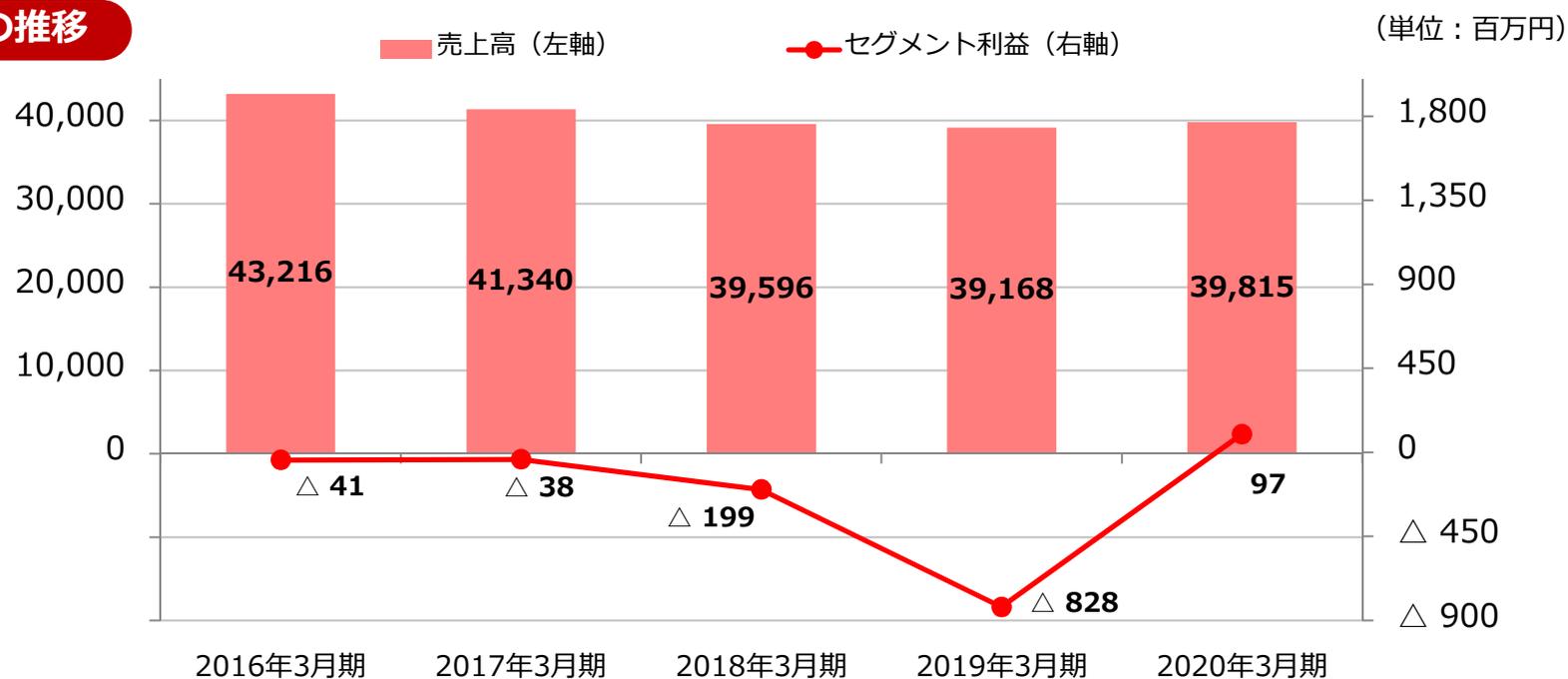
## 市場の動向

- ・ 出版市場は、紙媒体の雑誌、書籍の減少が続く一方、電子書籍市場は拡大。
- ・ 企業の広報活動や販促活動は、WebやSNSを活用したデジタルプロモーションへの移行が進展。また販促活動に対する費用対効果を求めるため、個人情報を含むデータの利活用が活発に。

## 業績のポイント

- ・ 出版印刷は減少、電子コミックの配信は増加。
- ・ 2019年1月に共同日本写真印刷(株)を子会社化したことにより、一般商印が増加。
- ・ 人員再配置、設備のスリム化等の生産体制最適化による固定費削減。

## 5年間の推移



# セグメント別業績【情報セキュリティ】

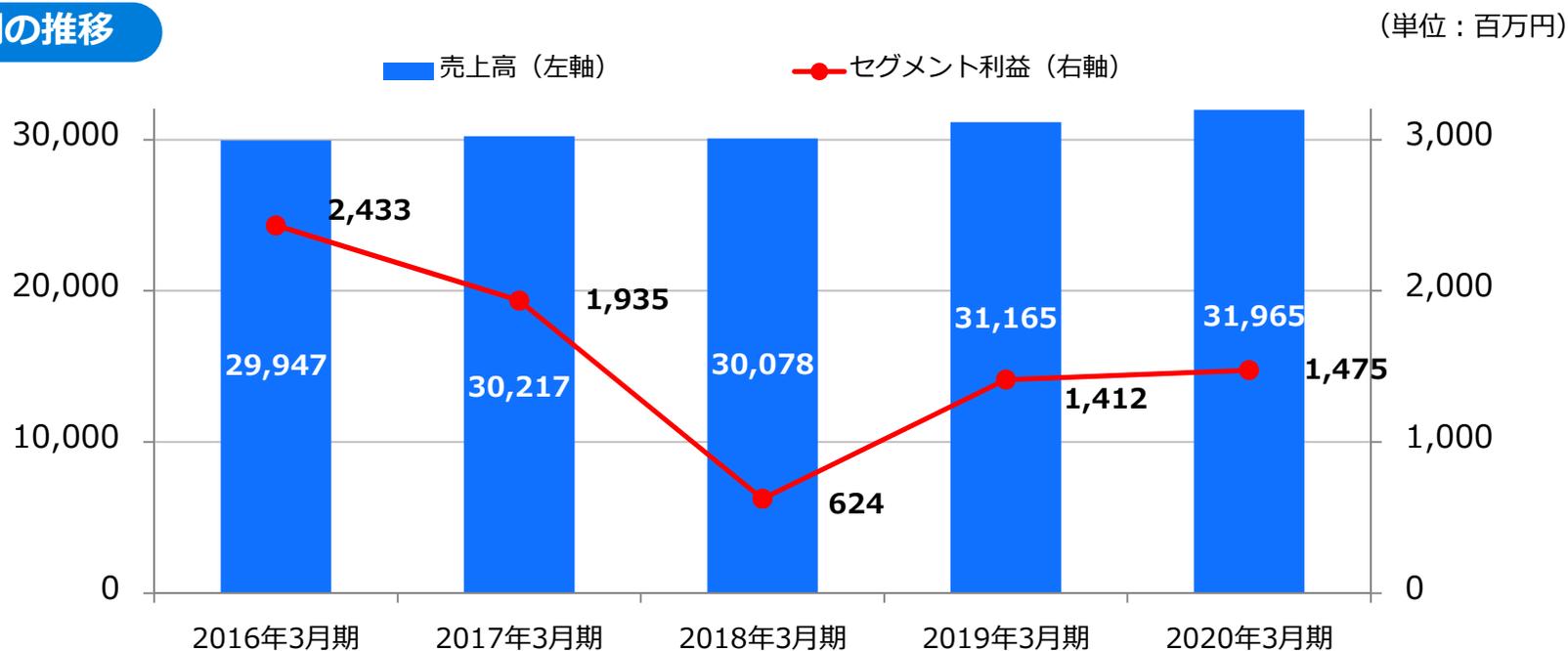
## 市場の動向

- ・企業では、コスト削減と顧客サービス向上の両立に向けた業務改革推進に向け、BPO需要が増加。
- ・行政は、人口減少と高齢化への対応を強化。
- ・顧客データの活用とAI分析を生かした新しいサービスの需要が増加する。

## 業績のポイント

- ・金融機関や自治体、資格試験を行う団体からBPO・データプリントの受注が増加。
- ・IC乗車券を中心としたICカードの受注増加。

## 5年間の推移



# セグメント別業績【生活・産業資材】

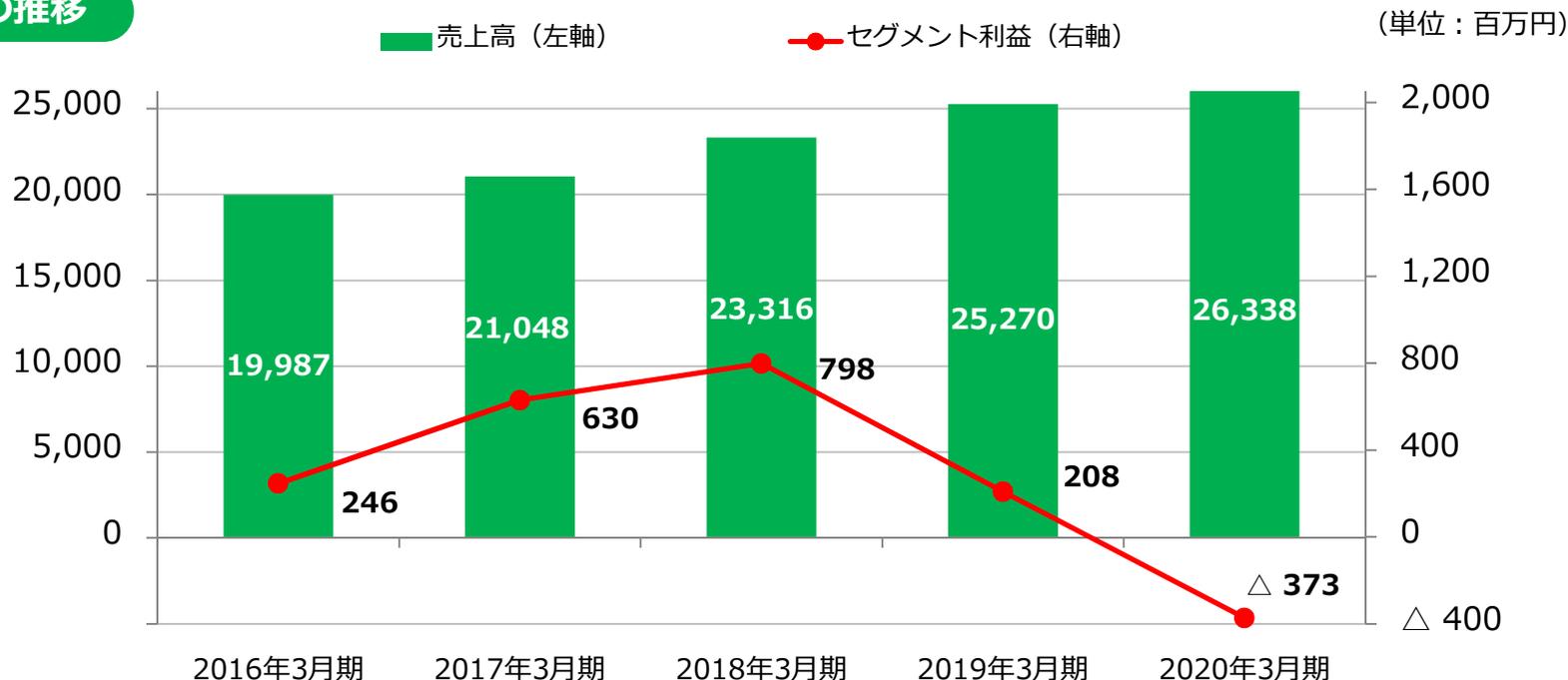
## 市場の動向

- ・パッケージ分野は、ユニバーサルデザインや食品ロス対策として高機能化が進む。
- ・個食の増加により、少量用パッケージの需要が拡大。
- ・ラミネートチューブでは、化粧品分野を中心に装飾性やバリア性に優れた製品需要が高まる。

## 業績のポイント

- ・化粧品や歯磨き用ラミネートチューブの受注増、(株)クレハより買収したブローボトル事業開始によって売上高が増加。
- ・事業拡大に向けた設備投資の拡大と人員増による固定費を回収できずセグメント損失に。

## 5年間の推移

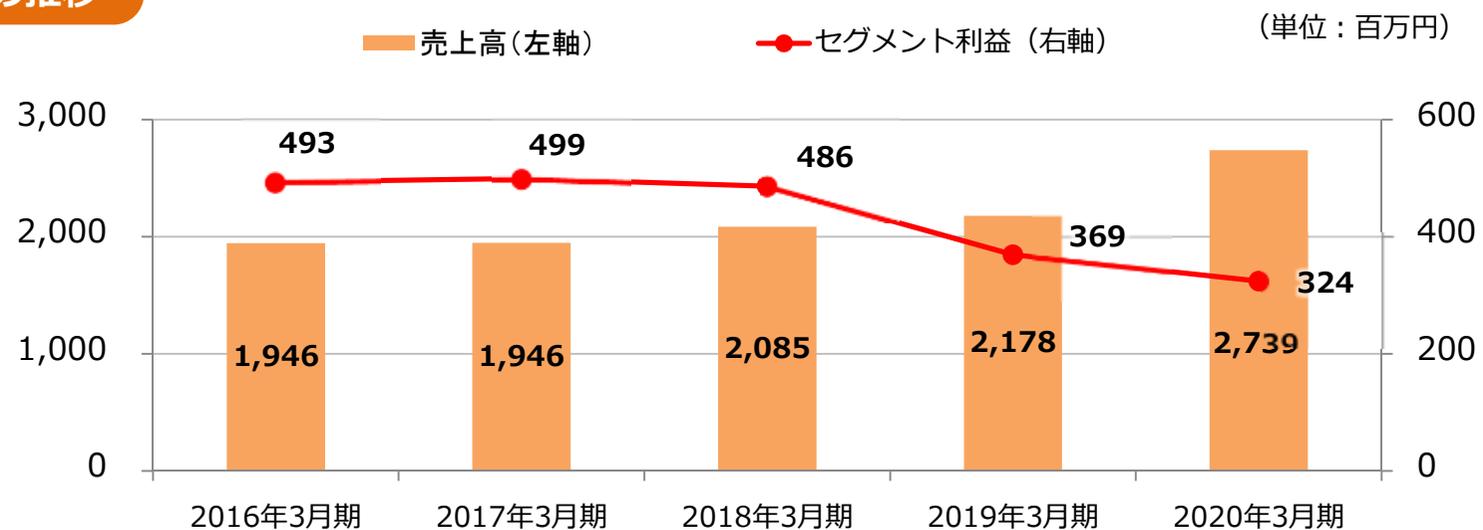


# セグメント別業績【その他】

## 業績のポイント

- ・ 偽造防止製品等の受注拡大による売上高の増加。
- ・ 固定資産の外部への賃貸を開始したため、売上高が増加。
- ・ 物流子会社の事業拡大投資による費用増により、利益が悪化。

## 5年間の推移



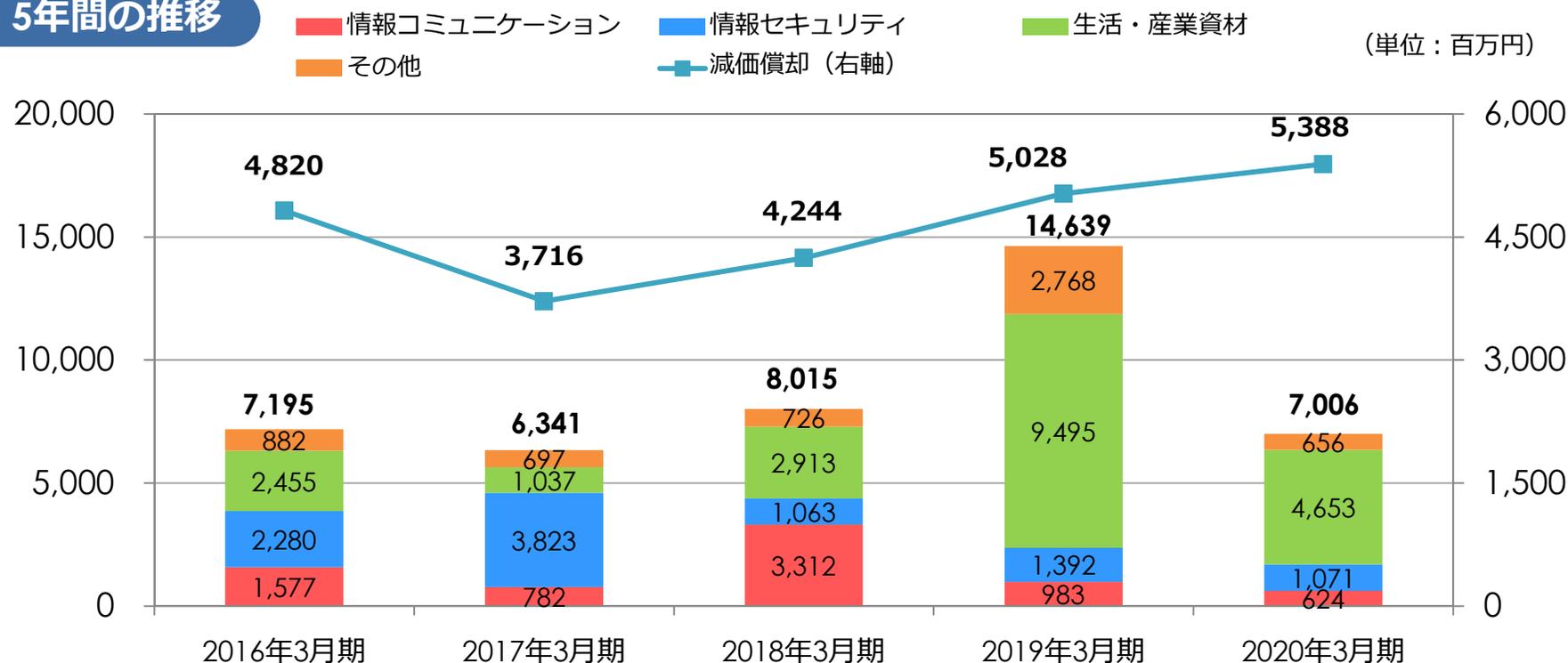
# 設備投資・減価償却費

- ・ 本社再開発を除き、大型設備投資は前期までに完了。  
2020年3月期は引き続き生活・産業資材系事業を中心に設備投資を実施。

## 2020年3月期の主な設備投資

- 生活) 和歌山工場新棟建設／生産設備増設 (約25億円※一部建設仮勘定を含む)
- 生活) ラミネートチューブ生産設備増設等 (約6億円)
- 生活) 守谷工場再編に伴う費用 (約5億円)
- 生活) Arisu社のカラワン工場建設 (約6億円※一部建設仮勘定を含む)

## 5年間の推移



# 連結貸借対照表

- ・投資有価証券の売却等により、資産は前期末比756百万円減少。
- ・借入等により、負債は前期末比2,863百万円増加。

(単位：百万円)

	2019年3月期末	2020年3月期末	前期末差額
流動資産	47,859	49,339	+1,480
固定資産	77,531	75,295	△2,236
資産合計	125,390	124,634	△756
流動負債	35,163	30,378	△4,785
固定負債	26,842	34,491	+7,648
負債合計	62,005	64,869	+2,863
純資産合計	63,384	59,764	△3,619
負債純資産合計	125,390	124,634	△756
自己資本比率	50.5%	47.9%	△2.6 p

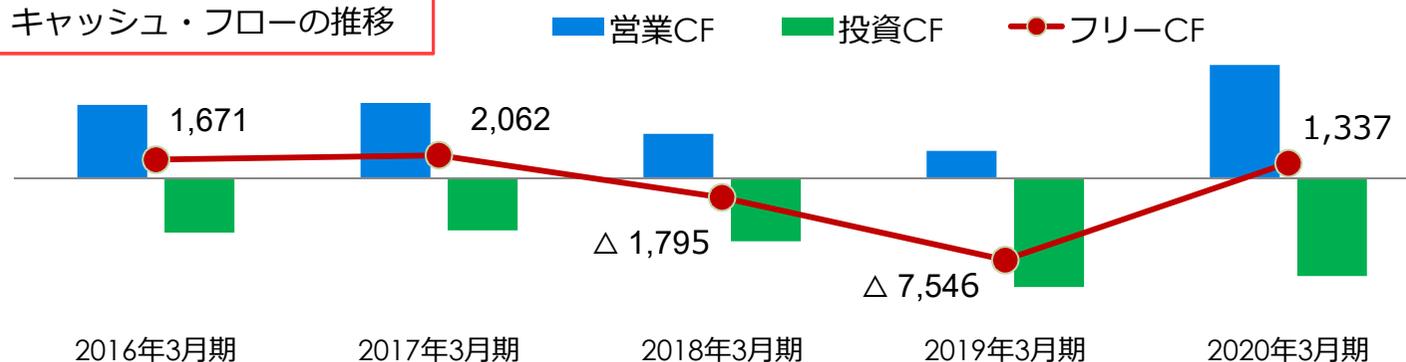
# 連結キャッシュ・フロー計算書

営業CF：利益の増加、売上債権の減少  
 投資CF：固定資産の取得による支出の減少  
 財務CF：長期借入の増加

(単位：百万円)

	2019年3月期	2020年3月期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,476	10,346	+7,870
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,023	△9,008	+1,014
フリー・キャッシュ・フロー	△7,546	1,337	+8,884
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,411	1,197	△2,213
現金及び現金同等物の期首残高	14,606	10,439	△4,166
現金及び現金同等物の期末残高	10,432	13,070	+2,638
<b>EBITDA</b>	<b>6,627</b>	<b>7,775</b>	<b>+1,148</b>

フリー・キャッシュ・フローの推移



新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、様々な企業・自治体において事業の中止・延期が相次いでいることや、外出自粛要請に伴う個人消費の減少等による、当社業績への影響が見込まれています。

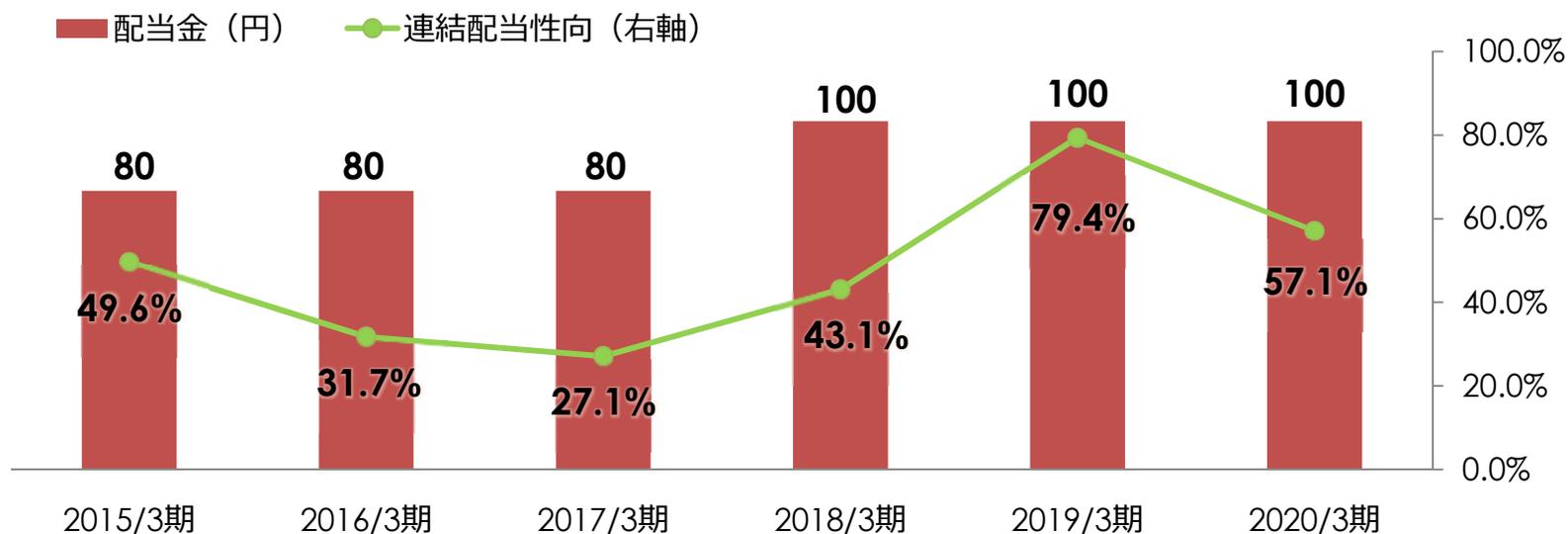
増加が見込まれる製品・サービスの例...即席麺用をはじめとする食品用包材類  
減少が見込まれる製品・サービスの例...企業のプロモーションにかかわる製品・サービス  
各種試験等の中止・延期等によるBPOの減少  
旅客需要の減少による交通系ICカード、乗車券需要の減少  
化粧品需要の減少によるチューブの減少

それらの影響を現時点で合理的に算定することは難しい状況にあるため、2021年3月期の業績予想は未定とします。

今後、業績予想の開示が可能となった時点で、速やかに公表します。

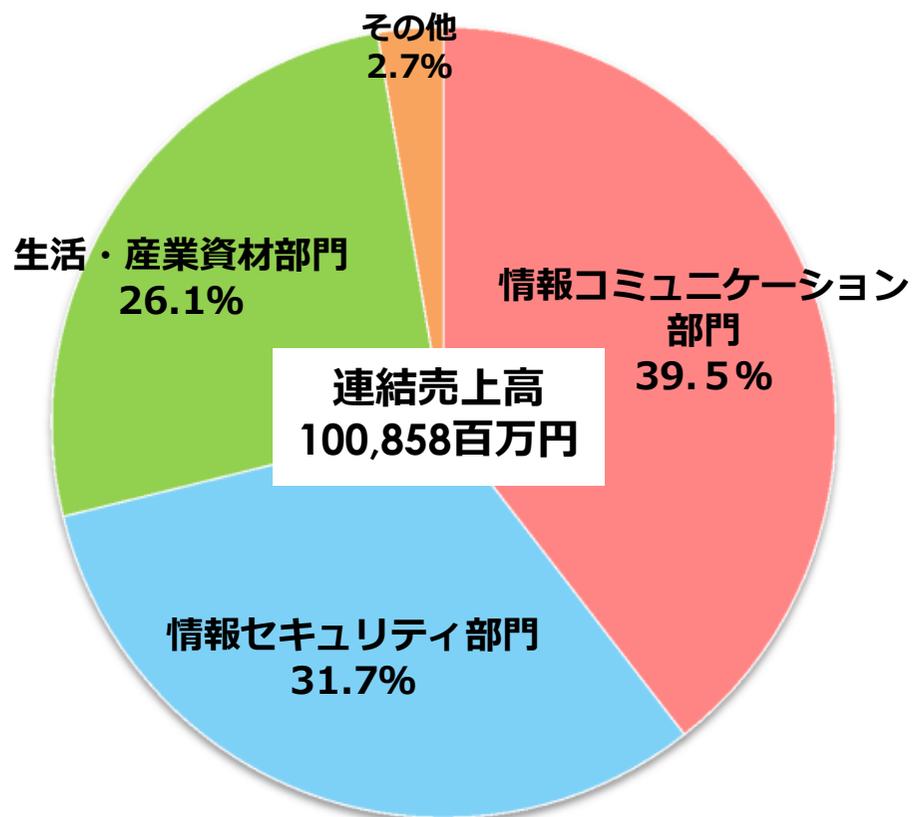
# 配当について

- 2020年3月期の期末配当金については、1株あたり50円を予定しています。  
これにより年間配当金は、中間配当金1株あたり50円と合わせ100円となります。
- 2021年3月期につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、現時点で業績予想を未定としているため、配当予想につきましても未定とします。  
業績予想の開示が可能になった時点で、配当予想についても速やかに開示します。



※ 2017年10月1日付で普通株式10株を1株に併合しており、  
2017年3月期以前の配当金は遡及して修正しています。

部門別売上高構成比  
(2020年3月期)



顧客業種別売上高構成比  
(2020年3月期)



# 参考) 従業員数・経営指標等

## 研究開発費

(単位：百万円)

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
研究開発費	1,323	1,120	977

## 連結従業員

(単位：人)

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
従業員	2,953	3,054	3,230

## 連結経営指標

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
発行済株式数	9,020,000株	9,020,000株	9,020,000株
一株当たり当期純利益	232.1円	126.0円	175.2円
一株当たり純資産	7,307.4円	7,267.2円	6,949.5円
総資産経常利益率 (ROA)	2.2%	1.4%	1.7%
自己資本利益率 (ROE)	3.2%	1.7%	2.5%
自己資本比率	53.2%	50.5%	47.9%
流動比率	171.6%	136.1%	162.4%

## 株式指標

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
期末株価	3,270円	2,456円	2,715円
株価収益率 (PER)	14.1倍	19.5倍	15.5倍

# TOMOWEL

共にある、未来へ

2019年3月期～2021年3月期  
中期経営計画

# 経営目標数値

	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	2021年3月期 計画
売上高	977億円	1,008億円	1,080億円
情報系事業	703億円	717億円	750億円
生活・産業資材系事業	252億円	263億円	300億円
その他	21億円	27億円	30億円
営業利益	10億円	15億円	35億円
情報系事業	5億円	15億円	19億円
生活・産業資材系事業	2億円	△3億円	12億円
その他	3億円	3億円	4億円
経常利益	17億円	21億円	42億円
ROE	1.7%	2.5%	5.0%
EBITDA	66億円	77億円	100億円

※ EBITDA = 営業利益 + 受取利息・配当金 + 減価償却費 + のれん償却費で計算  
 ※ 営業利益の「その他」には調整額を含む

新型コロナウイルス感染症の拡大が業績に与える影響を精査中。

事業別施策	情報系事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子書籍、デジタル教材等のデジタルコンテンツの受注拡大</li> <li>・販促支援ソリューションの受注拡大</li> <li>・医療、ヘルスケア分野におけるBPOの受注拡大</li> <li>・法人決済ソリューション事業（Bizプリカ）の拡大</li> </ul>
	生活・産業 資材系事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・軟包装専用棟の機能を生かしたリキッドパッケージの受注拡大</li> <li>・和歌山工場およびカラワン新工場で増強した生産力を生かし、日本国内および東南アジアでのチューブ事業拡大</li> <li>・ブローボトル事業の安定生産体制構築と効率化の推進</li> </ul>
業務効率向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理部門業務へのRPA導入推進</li> </ul>	
働き方改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モバイルワーク、サテライトオフィスの拡充</li> </ul>	
企業価値向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・投資有価証券売却の検討</li> <li>・状況に応じた株主還元施策の検討</li> </ul>	

# 設備投資・減価償却費

(単位：百万円)

	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	2019年3月期～2021年3月期 中期経営計画における設備投資		
			2021年3月期	3か年合計額	2020年3月期 までの進捗率
情報系事業	2,375	1,695	2,550	7,300	55.8%
生活・産業資材系事業	9,495	4,653	1,650	16,200	87.3%
その他	2,768	656	800	5,500	62.2%
グループ全体	14,639	7,006	5,000	29,000	74.6%
上段：設備投資額 下段：減価償却費	5,028	5,388	6,200		

## ◎2021年3月期実施予定の主な設備投資

情報系事業) 出版商印分野の生産体制最適化およびカードやBPOの生産効率向上に向けた設備投資を実施

生活・産業資材系事業) 生産効率向上および品質向上に向けた設備投資を実施

当資料は、投資家の皆さまに共同印刷株式会社への理解を深めていただくことを目的として、経営や財務に関する情報を提供するものです。

以下の点をご了解の上、ご覧ください。

- ・業績見通し等は、作成時点において当社が予測する範囲内で作成したものです。
- ・記載の業績見通し等とは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおりますことをご承知ください。
- ・投資に関する決定は、投資家ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- ・掲載内容については細心の注意を払っておりますが、不可抗力によって情報に誤りを生ずる可能性もございますので、ご注意下さい。

(お問い合わせ先)

〒112-8501 東京都文京区小石川4丁目14番12号

連絡先:共同印刷株式会社 コーポレートコミュニケーション部

TEL:03-3817-2071(9:30~17:30、土日・祝日を除く)

E-mail : koho@kyodoprinting.co.jp

H P : <https://www.kyodoprinting.co.jp/>